

一部事務組合の施設更新について

1 多摩清掃工場（多摩ニュータウン環境組合）施設老朽化対応について

八王子市、町田市、多摩市で構成される多摩ニュータウン環境組合が管理・運営する多摩清掃工場の施設老朽化が進む中、「安定的な処理を継続するための整備が必要なこと」・「整備にあたっては効果的かつ効率性が求められること」から新たな施設の整備を検討している。

(1) 新施設建設時期

令和 15 年度(2033 年度)～令和 18 年度(2036 年度)に、新焼却施設を稼働できる時期とし、具体的な稼働開始時期は令和 6 年(2024 年) 3 月までに決定する。

(2) 処理能力等

処理能力は処理区域による将来人口とごみの発生量に加え、災害時に想定されるごみ量を加味して設定する。環境負荷の低減、廃棄物エネルギーの活用、災害に強い施設とする。

<多摩清掃工場施設概要>

建設年月	着工	平成 6 年(1994年) 7月	
	竣工	平成10年(1998年) 3月	(その 1)
		平成14年(2002年) 3月	(その 2)
建物の構造・面積	鉄骨鉄筋コンクリート造	4,633.22㎡	(その 1)
		1,758.65㎡	(その 2)
焼却方式	全連続燃焼式機械炉 (ストーカ式)		
焼却能力	400t/日 (200 t/日× 2 基)		
設計施工者	日立造船株式会社 (その 1・その 2)		
事業費	総工事費	25,729,400千円	(その 1)
		2,530,500千円	(その 2)
余熱利用	8,000kW× 1 基		



2 エコセメント化施設更新工事基本計画の概要

多摩地域25市1町より構成される東京たま広域資源循環組合が管理を行うエコセメント化施設では、各市の焼却灰をセメントの原料へと資源化を行っている。令和7年度（2025年度）に20年間のDBO方式による運営期間が満了となるため、以下の内容で施設の更新工事を行う。

(1) 基本的な方針

- ①更新工事竣工後20年間安定稼働が可能な設備更新
- ②焼却残さ埋立ゼロの継続
- ③工事期間中のエコセメント事業の継続
- ④CO₂排出量の削減
- ⑤災害対応力の強化

(2) 施設規模

年間焼却残さ処理量 75,000 t/年

(3) 工事期間

令和8年度～令和12年度とし、各年度の工事期間を100日以内とする。

(4) 事業方式

DBO方式

(5) 概算工事費

50,000,000千円（25市1町にて負担）

<エコセメント化施設概要>

建設年月	造成工事	平成15年(2003年) 2月
	建設工事	平成16年(2004年) 1月
	施設の稼働	平成18年(2006年) 7月
建物の構造・面積	施設用面積	46,000㎡
		(処分場全体面積 591,000㎡)
施設規模	焼却残さ等の処理量	約300t/日
	エコセメント生産量	約430t/日
設計施工・運営者	太平洋セメント株式会社	
事業費	建設費	27,200,000千円
	維持管理費	約2,640,500千円/年

